

各位

平成 17 年 9 月 6 日  
富士ブレーキ工業株式会社  
代表取締役 秋山 武

### アスベスト関連健康障害に関して

当社のアスベスト関連の健康障害状況についてお知らせいたします。

- 1 アスベストによる健康障害状況 (1976 年～2005 年 8 月)  
現在のところ、当社従業員・退職者の中で、アスベストに起因することが明らかな疾病により亡くなられた方及び療養されている方は、ともに確認されておりません。
- 2 工場周辺からの問題について  
現在のところ、工場周辺地域からのアスベスト関連の問題は起きておりません。
- 3 使用石綿の種類  
白石綿(クリソタイル)以外の石綿は、使用しておりません。
- 4 各工場について  
(板橋工場)  
当社では、昭和 26 年(1951 年)東京都板橋区小豆沢にて、富士石綿工業株式会社として創業し、自動車用、産業機械用摩擦材を生産開始いたしました。この板橋工場は、昭和 45 年(1970 年)まで稼働いたしました。  
昭和 40 年(1965 年)社名を 富士ブレーキ工業株式会社に変更  
(浦和工場)  
昭和 41 年(1966 年)埼玉県浦和市田島(現さいたま市桜区田島)に浦和工場稼働開始し、平成 11 年 10 月に閉鎖をしました。ブレーキライニング、クラッチフェーシングを製造  
昭和 62 年(1987 年)アスベストフリークラッチフェーシング開発し、アスベスト品の製品と平行生産しながら、閉鎖時には完全アスベストフリー化完了  
(茨城工場)  
昭和 49 年(1974 年)茨城県猿島郡三和町に、ブレーキライニングラインを、浦和工場より移設、稼働開始、その後、ディスクブレーキパット製造ラインを新設し現在稼働中  
ディスクブレーキパットは、平成 5 年からアスベストスフリー化を行い、平成 12 年完了  
ブレーキライニングは、平成 11 年からアスベストスフリー化を行い平成 15 年に完了  
(大和田事業所)  
平成 11 年(1999 年)茨城工場製品倉庫、特殊パット生産開始、現在稼働中  
稼働初期より完全アスベストフリー化をしております。
- 5 特殊検診  
従業員に対する特殊健康診断は、昭和 51 年以降法令に従って、年 2 回おこなってきております。

6 工場境界における石綿濃度

工場境界における石綿濃度調査は、法令に基づいて行い、法令に定める基準を超えたことはありません。(浦和工場、茨城工場)

7 その他 当社退職者の方をお願い

退職者に関して追跡調査を行っておりますが、資料が少なく追跡調査に多くの方の漏れが生じる可能性があります。

追跡調査の届いていない方、また、現在石綿に起因すると思われる障害がある方は、下記にご連絡をください。

当社では、石綿問題に関して、今後とも情報開示を行ってまいります。

以上

御問合せ先

富士ブレーキ工業株式会社 総務部 松尾まで、

〒306-0023 茨城県古河市本町4-1-9 ONOZATOビル 5F

TEL 0280-30-8281 FAX 0280-31-1921

Mail [info@fujibrake.co.jp](mailto:info@fujibrake.co.jp)